

主要産地における平成26年産水稻の生育状況等について 第2報 (5月28日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成26年5月29日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(育苗・田植)	<p>(全道) 苗はややく生育しており、移植は早めに始まる見込み (空知) 苗の生育と耕起作業は順調、移植作業は平年より早まる見込み (石狩) 出芽以降の高温多湿により苗の生育は順調 (後志) 田植え進捗状況は3% (胆振) 苗の生育は遅れ順調 (日高) 苗の生育は平年並、一部で移植作業始まる (渡島) 苗の生育は平年並 (樺山) 苗の生育は平年並 (上川) 苗の生育は平年よりやや早い (留萌) 播種期以降の低温、日照不足により苗の生育は遅れている (オホーツク) 苗の生育は平年並 (北海道 5月15日現在)</p>	5月のばか苗病の発生量はやや多、細菌性苗立枯病の発生量はやや少、苗立枯病の発生量は平年並の予報 (北海道病害虫防除所 5月1日公表)
青森	田植	<p>・5月25日現在の田植え進捗状況は県全体で93%、田植最盛期は平年より1日早い (青森県 5月27日付)</p>	5月のばか苗病の発生量はやや少、細菌性苗立枯病の発生量は津軽地域ではやや少、県南地域では少、苗立枯病の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオイムシの発生量は津軽地域では平年並、県南地域ではやや少ない予報 (青森県病害虫防除所 4月30日公表)
岩手	(田植)	<p>・5月21日現在、北上川上流 (進捗率43%)、下流 (同80%)、東部 (同68%)、北部 (21%) で田植えが進行中。 県全体の田植え進捗状況は68%。 (岩手県中央農業改良普及センター 5月22日付)</p>	<p>・5月のばか苗病の発生量は少、細菌性苗立枯病の発生量は平年並、苗立枯病の発生量はやや多、苗いち病の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量はやや少、イネドロオイムシの発生量は少の予報 (岩手県病害虫防除所 4月30日公表) ・アカスジカスミカメ越冬世代幼虫の孵化盛期は平年より早まる予想 (岩手県病害虫防除所 5月16日付)</p>
宮城	(田植)	<p>5月25日現在、県全体の田植え進捗状況は97.6%、田植えはほぼ終了 (宮城県 5月26日付) <地区別進捗状況> (大河原) 97.6% (大 崎) 98.4% (登 米) 98.1% (気仙沼) 95.5% (仙台) 96.6% (東 原) 95.4% (石 巻) 99.6%</p>	<p>・イネミズゾウムシの発生量はやや多、イネドロオイムシは平年並の予報 (宮城県病害虫防除所 5月26日公表) ・減農薬栽培を実施している育苗施設等でイネ苗立枯病の発生が確認され特にフザリウム属菌及びトリコデルマ属菌による苗立枯病の発生地点率が平年より高い。また、イネばか苗病の発生が確認され、発生地点率は平年より高い (宮城県病害虫防除所 4月28日公表)</p>
秋田	(育苗・田植)	<p>(鹿 角) 5月20日現在の田植進捗状況は41.1%で平年より遅れ、直播の播種作業は92.2%で間もなく終了 (5月23日付) (北秋田) 苗の生育は日照時間が多かったため平年に比べやや進んでいる。耕起作業進捗状況は94%で平年 (51%) より大幅に早 (5月9日付) (山 本) 降雨の影響で田植最期は5月19日で平年より1日遅い (秋 田) 5月20日現在の田植え進捗状況は69.8%、田植最期は平年より2日遅い5月18日 (5月23日付) (由 利) 5月20日現在の田植え進捗状況は61.7%、田植最期は平年より3日遅い5月18日 (5月23日付) (仙 北) 5月20日現在の田植え進捗状況は23% (5月23日付) (平 鹿) 田植え始期は5月19日、降雨の影響で作業は停滞気味 (5月23日付) (雄 勝) 田植え始期は5月19日で平年並 (5月23日付) (秋田県農林政策課)</p>	<p>・イネヒメハモグリバエの圃場産卵数は多く要注意 (秋田県病害虫防除所 5月21日公表) ・5月の苗いち病の発生量はやや少、苗立枯病の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量はやや多、イネドロオイムシの発生量はやや少、イネミズゾウムシの発生量は多、フタオビコヤカバの発生量はやや多の予報 (秋田県病害虫防除所 4月24日公表)</p>
山形	(育苗・田植)	<p>(最 上) 苗は一部で高温障害が見られるものの生育はおおむね順調。耕起作業については平年より4日早、田植え作業も平年より早まる見込み (山形県農上総合支庁 5月15日付) (置 戸) 耕起後の圃場乾燥が進んだため乾土効果が大きく、初期生育は確保されやすい状況 (山形の米日本一推進運動置戸本部 5月14日付) (庄 内) つや姫の移植時期は5月10日前後 (山形県庄内総合支庁 5月8日付)</p>	5月の細菌性苗立枯病の発生量は平年並、苗立枯病の発生量は平年並の予報 (山形県病害虫防除所 4月23日公表)
福島	(育苗・田植)	<p>育苗播種作業終期は4月25日で平年並、一部で苗立枯病・根結菌菌病が確認された。直播栽培では4月下旬から播種作業を開始、移植栽培も早いところは4月下旬から開始 (福島県農林水産部 5月9日付)</p>	5月の細菌性苗立枯病の発生量は平年並、苗立枯病の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネヒメハモグリバエの発生量は平年並の予報 (福島県病害虫防除所 4月23日公表)
茨城			<p>本田でのイネミズゾウムシの生息数のピークは県南・県西地域では5月中～下旬、県北・鹿行地域では5月下旬～6月上旬と予測 (茨城県病害虫防除所 4月30日公表)</p>
栃木			4月の育苗箱における苗立枯病、ムシ苗、細菌性病害、ばか苗病の発生程度は少であった (栃木県農業環境指導センター 4月18日公表)
埼玉			5月のばか苗病の発生量は平年並、苗いち病の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は多、イネドロオイムシの発生量は平年並の予報 (埼玉県病害虫防除所 4月30日公表)
千葉			5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオイムシの発生量は平年並、ジャンボタニシの発生量は平年並の予報 (千葉県農林総合研究センター 4月16日公表)
新潟	(田植)	<p>・上越市の田植作業は好天に恵まれ順調に進んでいる。苗の生育が良かったため田植えも早めに行われている。 (上越市食育ニュース 5月13日付) ・5月連休田植えの早場では過剰生育が懸念されるため適期を過ぎず中干しをするよう指導 (新潟県農業改良普及センター 5月22日付) (柏崎・刈羽) 高温障害回避のため、こしいぶき等早生品種の田植えの目安は5月7日 (平場)、5月8日 (中山間地) 以降、コシヒカリの田植えの目安は5月10日 (平場)、5月13日 (中山間地) 以降で指導 (柏崎地域農業振興協議会 4月18日付)</p>	5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオイムシの発生量は平年並の予報 (新潟県病害虫防除所 4月30日公表)
富山	(田植)	<p>J A いなば管内では5月中旬に入り、コシヒカリの田植え作業がピークを迎えている。近年コシヒカリでは、高温による生育障害を回避するために5月15日を中心とした田植えを奨励 (J A いなばホームページ 5月16日付)</p>	5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオイムシの発生量は少、イネゾウムシの発生量は少の予報 (富山県農林水産総合技術センター 5月1日公表)
石川	(田植)	<p>・田植え最期は加賀地区で5月4日、能登地区で5月6日、県全体では5月5日で平年より1日遅い。 田植後は概ね好天となり活着は順調。草丈は平年並 (石川県農林総合研究センター 5月20日付)</p>	<p>・イネミズゾウムシによる食害が一部で散見される (石川県農林総合研究センター 5月20日付) ・5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオイムシの発生量はやや少、イネヒメハモグリバエの発生量は平年並の予報 (石川県農林水産総合技術センター 4月24日公表)</p>
福井	(生育)	<p>(田植) ・コシヒカリの活着は良好で順調な生育 ・ハクアエナゼンの生育量は田植後の気温の影響で平年より小さい (直播) ・良好な苗立ちを迎えている (福井県他 5月23日付)</p>	5月の苗いち病の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は少、イネゾウムシの発生量は少、イネヒメハモグリバエの発生量は平年並の予報 (福井県農業試験場 4月30日公表)
長野	(生育)	<p>・活着は順調 (松本農業改良普及センター 5月26日付) ・保温資材の除去がおくれたため高温で苗を焼いて煮たような状態となり、播き直しとなる報告が増えている (松本農業改良普及センター 4月24日付)</p>	<p>・気温の上昇とともに藻類・表層剥離の発生が徐々に目立つ (松本農業改良普及センター 5月26日付) ・5月の細菌性苗立枯病の発生量は平年並、苗立枯病の発生量は平年並の予報 (長野県病害虫防除所 4月15日公表)</p>

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏める。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

生育状況等	
滋賀	葉いもち病、ニカメイガの発生量は平年並、イネドロオウムシ、イネミスゾウムシはやや少ない予報（滋賀県病害虫防除所 5月20日公表）
兵庫	5月のばか苗病、苗立枯病の発生量は平年並の予報（兵庫県病害虫防除所 5月1日公表）
岡山	5月の細菌性苗立枯病、綿葉枯病、萎縮病の発生量は平年並、ヒメトビウンカ、ツマグロコバエの発生量は少、イネミスゾウムシの発生量は平年並の予報（岡山県 5月1日公表）
広島	
山口	5月のイネミスゾウムシの発生量は平年並の予報（山口県病害虫防除所 5月1日公表）
愛媛	5月のいもち病（圃場）発生量は平年並の予報（愛媛県病害虫防除所 5月1日公表）
高知	早期水稲の育苗は3月から開始、普通期水稲の育苗は5月から開始（愛媛県農林水産部 5月12日公表）
福岡	<p>（育苗）</p> <p>（田植）</p> <p>幡多農業振興センター管内（四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村）の早生水稲の田植えはほぼ終了、4月中旬以降は極端な夜低温もなく概ね活着は順調（高知県幡多農業振興センター 5月15日付）</p> <p>朝倉善及指導センター管内（朝倉市、筑前町、東峰村）では5月1日～2日を中心に早期栽培夢つくしの田植えを終了、収穫は8月の盆明けの見込（福岡県朝倉善及指導センター 5月12日付）</p>
熊本	<p>（田植）</p> <p>J Aあまくさ管内では早期米の田植えが3月下旬からスタート、4月中旬がピークの見込 J A本渡五和管内では早期米の田植えが3月31日からスタート、4月上旬がピーク J Aくま管内では早期米の田植えが4月上旬からスタート （J Aグループ熊本ホームページ「管内J Aニュース」）</p>
宮崎	<p>（生育）</p> <p>早期水稲4月22日現在の生育ステージ （県全体） 活着期～分けつ前期で平年よりやや早 （中部地区） 活着期～分けつ前期で平年より3日早く、移植後の生育は概ね順調 （南那珂地区） 分けつ前期で平年並、4月上旬の強風で葉痛みが見られたものの、好天により生育は回復基調 （児湯地区） 活着期～分けつ前期で平年より1日遅いが、3月中旬頃に移植した苗は順調に分けつし始め 3月下旬に移植した苗では4月上旬の強風の影響で生育がやや遅く、葉先の黄化も見られる （東臼杵地区） 活着期で平年並、4月上旬の強風による葉痛みにより生育はやや遅れる可能性があるが、今後天候で回復する見込み （JA宮崎経済運ホームページ「宮崎県早期米産地情報」5月7日付）</p>
鹿児島	5月の早期水稲のいもち病（葉いもち）の発生量は平年並の予報（鹿児島県病害虫防除所 5月1日公表）

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考 生産数量目標			収穫量（主食用） 25年産	作況指数 25年産
		平成26年産	前年産との比較	増減率		
		t	t	%		
北海道	・北海道地方の5月24日～6月23日の1か月間の気温、降水量、日照時間は平年並の見込み（札幌管区気象台 5月22日発表）	554,140	▲ 18,800	▲ 3.3	601,300	105
青森	・東北地方の5月24日～6月23日の1か月間の気温は、期間のはじめは平年より高くその後は平年並の見込み。降水量は平年並か平年より少なく、日照時間は平年並か平年より多い見込み（仙台管区気象台 5月22日発表）	247,000	▲ 12,220	▲ 4.7	272,100	104
岩手	同上（仙台管区気象台 5月22日発表）	275,540	▲ 10,810	▲ 3.8	287,800	102
宮城	・同上（仙台管区気象台 5月22日発表） ・5月15日現在、農業用水主要ダム17カ所の平均貯水率は92.1%で平年を上回っている（宮城県農林水産部 5月16日付）	362,630	▲ 18,140	▲ 4.8	388,600	104
秋田	同上（仙台管区気象台 5月22日発表）	433,040	▲ 13,390	▲ 3.0	450,200	100
山形	同上（仙台管区気象台 5月22日発表）	358,570	▲ 15,630	▲ 4.2	386,100	102
福島	同上（仙台管区気象台 5月22日発表）	348,420	▲ 7,440	▲ 2.1	368,600	104
茨城	・関東甲信地方の5月24日～6月23日の1か月間の気温は、平年並か高い見込み。 ・降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 （気象庁 5月22日発表） ・那珂川流域では4月に入ってから雨が少なく、川の流量が減少して現在基準流量を下回っており、塩分の遡上も確認された。今後まとまった降雨が無い場合には、さらに河川の流量が減少し、下流部においては取水不能となることが懸念される。常陸河川国道事務所は、平成26年4月25日10時00分に那珂川洪水対策支部を設置し、準備体制に入った（国土交通省関東地方整備局 4月25日付）	341,550	▲ 7,340	▲ 2.1	398,900	104
栃木	同上（気象庁 5月22日発表）	309,330	▲ 12,220	▲ 3.8	334,900	102
埼玉	同上（気象庁 5月15日発表）	152,680	▲ 3,920	▲ 2.5	165,900	98
千葉	同上（気象庁 5月22日発表）	249,280	▲ 6,420	▲ 2.5	329,100	104
新潟	・北陸地方の5月24日～6月23日の1か月間は、平年に比べ晴れる日が多く気温は高い見込み。 （新潟地方気象台 5月22日発表）	535,640	▲ 10,030	▲ 1.8	594,400	103
富山	同上（新潟地方気象台 5月22日発表）	192,340	▲ 3,920	▲ 2.0	198,200	102
石川	同上（新潟地方気象台 5月22日発表）	126,400	▲ 3,000	▲ 2.3	130,500	101
福井	同上（新潟地方気象台 5月22日発表）	128,130	▲ 5,230	▲ 3.9	134,700	102
長野	・関東甲信地方の5月24日～6月23日の1か月間の気温は平年並か高い見込み。 ・降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 （気象庁 5月22日発表） ・少雨に係わる農作物の管理について、計画的な配水・適期内の田植えなどを指導（長野農業改良普及センター 5月15日付）	196,640	▲ 7,760	▲ 3.8	213,000	101

	気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	t	%	t		
滋 賀	・近畿地方の5月24日～6月23日の1か月間の気温は、平年並か高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年より多い見込み。 （大阪管区気象台 5月22日発表）	163,380	▲ 7,000	▲ 4.1	169,300	102
兵 庫	同上（大阪管区気象台 5月22日発表）	181,930	▲ 6,010	▲ 3.2	189,800	100
岡 山	・中国地方の5月24日～6月23日の1か月間の平均気温は、平年並か高い見込み 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み（広島地方気象台 5月22日発表）	160,190	▲ 5,850	▲ 3.5	163,800	97
広 島	同上（広島地方気象台 5月22日発表）	130,130	▲ 4,270	▲ 3.2	132,600	99
山 口	・九州北部地方（山口県含む）の5月24日～6月23日の1か月の気温は、平年並か高い見込み 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年より多い見込み（福岡管区気象台 5月22日発表）	110,820	▲ 5,530	▲ 4.8	111,000	97
愛 媛	・四国地方の5月24日～6月23日の1か月間の気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年より多い見込み （高松地方気象台 5月22日発表）	74,490	▲ 1,690	▲ 2.2	74,900	99
高 知	同上（高松地方気象台 5月22日発表）	50,050	▲ 1,700	▲ 3.3	57,900	98
福 岡	・九州北部地方（山口県含む）の5月24日～6月23日の1か月の気温は、平年並か高い見込み 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年より多い見込み（福岡管区気象台 5月22日発表）	184,380	▲ 6,860	▲ 3.6	182,500	96
熊 本	・九州南部地方の5月22日～6月23日の1か月の気温は、平年並か高い見込み 降水量は平年並みか少なく、日照時間は多い見込み（鹿児島地方気象台 5月22日発表）	189,920	▲ 7,790	▲ 3.9	188,300	97
宮 崎	同上（鹿児島地方気象台 5月22日発表）	94,470	▲ 4,660	▲ 4.7	92,600	100
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 5月22日発表）	111,540	▲ 3,980	▲ 3.4	112,500	101

参考資料:

平成26年産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)

平成25年産水陸稲の収穫量(農林水産省)

農作物の生育状況(北海道 5月20日)、病虫害発生予察情報第2号5月予報(北海道病虫害防除所)、5月25日現在田植進捗状況(5月27日)(青森県)、平成26年度病虫害発生予報第2号5月予報(青森県病虫害防除所)、田植えの進捗状況(5月21日現在概況速報)について(岩手県中央農業改良普及センター県域普及グループ)、平成26年度病虫害発生予察情報発生予報第2号(岩手県病虫害防除所)、平成26年度病虫害防除速報No.3 水稻編-1(岩手県病虫害防除所)、平成26年産水稻の田植進行状況について(5月25日現在)(宮城県農林水産部)、平成26年度発生予察情報発生予報第3号(宮城県病虫害防除所)、平成26年度発生予察情報第1号(宮城県病虫害防除所)、平成26年度生育状況報告5月9日号・5月23日号(秋田県)、平成26年度農作物病虫害発生予察情報注意報第1号(秋田県病虫害防除所)、(平成26年度農作物病虫害発生予察情報発生予報第1号(5月予報)(秋田県病虫害防除所)、稲作だより第4号(山形県最上総合支庁)、つや姫だより第2号(山形県庄内総合支庁)、おきたま米づくり情報第5号(山形の米日本一推進運動置賜地域本部)、平成26年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第2号(5月)(山形県病虫害防除所)、主要な農作物の生育状況平成26年度第2号(福島県農林水産部)、平成26年度病虫害発生予察情報発生予報第1号(福島県病虫害防除所)、病虫害発生予報5月号(茨城県病虫害防除所・茨城県植物防疫協会)、那珂川の濁水状況について(高度交通省関東地方整備局)、病虫害発生現況情報(平成26年4月)(栃木県農業環境指導センター)、平成26年度病虫害発生予報第1号(埼玉県病虫害防除所)、平成26年度病虫害発生予報第1号(千葉県農林総合研究センター)、上越市食育ニュースNo.3(上越市)、水稻技術情報No.4(新発田農業普及指導センター)、刈羽・柏崎地区稲作だより平場版No.3・中山間地版No.3(柏崎地域農業振興協議会)、平成26年度新潟県病虫害発生予察情報・予報第2号(5月の発生予想)(新潟県病虫害防除所)、平成26年度農作業風景(水稻)(JAいなばホームページ<http://www.ja-inaba.or.jp>)、病虫害発生予報第2号(富山県農林水産総合技術センター)、平成26年産水稻の生育状況と今後の対策(石川県農林総合研究センター)、病虫害発生予報第1号(石川県)、稲作情報No.3(稲作情報作成委員会・水田農業レベルアップ委員会技術普及部会)、平成26年農作物病虫害発生予察予報第3号(福井県農業試験場)、平成26年度作物技術普及情報第9号(長野県松本農業改良普及センター)、病虫害発生予報第1号(長野県病虫害防除所)、少雨に係わる農作物等の管理について(平成26年5月15日)(長野農業改良普及センター)、平成26年度病虫害発生予報第3号(滋賀県)、平成26年度病虫害発生予察予報第1号(兵庫県病虫害防除所)、平成26年度病虫害発生予報第2号(岡山県)、今月の天候と農作業5月(愛媛県)、病虫害発生予報(5月)(愛媛県)、平成26年度病虫害発生予報第2号(高知県病虫害防除所)、幡多管内主要品目の生育状況(4月)(高知県幡多農業振興センター)、ネットトラップ及び予察灯における海外飛来性害虫の誘殺状況(5月23日)(福岡県病虫害防除所)、普及指導センター情報(福岡県朝倉普及指導センター)、管内JAニュース(JAグループ熊本ホームページ<http://www.ja-kumamot.or.jp>)、平成25年度病虫害発生予報第2号(5月予報)(熊本県病虫害防除所)、平成26年産宮崎県早期米産地情報(平成26年4月22日現在)(宮崎経済連ホームページ<http://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html>)、平成26年度病虫害発生予報第1号(宮崎県病虫害防除所・肥料検査センター)、平成26年度病虫害発生予察第2号(鹿児島県病虫害防除所)、

北海道地方方向こう1か月の天候の見通し(札幌管区气象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(仙台管区气象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(新潟地方气象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(大阪管区气象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(広島地方气象台)、四国地方方向こう1か月の天候の見通し(高松地方气象台)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し(福岡管区气象台)、九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方气象台)